

令和5年度 経営改革プラン

団体名	神戸市道路公社	
設立年月日	昭和46年4月21日	
団体の設立目的・沿革	道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、市内幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と経済の発展に寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	有料道路管理事業	自主事業
	駐車場管理事業	自主事業
代表者	理事長 三島 功裕	

役職員数 (令和4年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		-	-
神戸市派遣職員	1	1	-	-		33	35
神戸市OB職員	1	-	-	-	17		18
その他	-	-	-	2	6	-	8
合計	2	1	-	2	23	33	61

財務状況 (単位：百万円)	令和3年度	令和2年度	差引
経常損益	5,660	1,815	3,845
税引後当期純利益	21	11	10
流動資産	5,763	5,182	581
流動負債	3,163	2,526	637
長期借入金 (固定負債)	16,098	17,696	▲ 1,598
期末現金預金残高	5,324	4,449	875

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	有料道路（六甲3路線、西神戸）、及び駐車場（荒田公園、三宮中央通、大倉山）建設事業費の着実な償還
ミッション②	安全・災害対策 ・安全・安心な道路を提供するための計画的かつ効果的な対策
ミッション③	渋滞対策など円滑な交通ネットワークの形成
ミッション④	経営の効率化

■短期的なミッション（令和5年度のミッション）

ミッション①	利用促進（需要喚起策の検討） ・新たな料金制度等の検討及び特に厳しい収支状況にある荒田・大倉山駐車場の利用促進
ミッション②	六甲3路線改築事業(R3~7年度)・長寿命化修繕計画の着実な実行
ミッション③	渋滞対策とアクセス強化に向けた事業スキームの検討
ミッション④	運営体制の最適化

■経営指標（令和3年度）

経営指標				令和2年度	令和3年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	0.582	0.933	0.4ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	1.88%	1.92%	0.0ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	1.27%	4.04%	2.8ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	103.88%	98.60%	▲5.3ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	205.11%	182.21%	▲22.9ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	20.32%	18.26%	▲2.1ポイント
持続性	自己資本当期純利益率(ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	0.04%	0.08%	0.0ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	0.04%	▲13.41%	▲13.4ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名	令和5年度			令和6年度			令和7年度～					
中長期的ミッション												
有料道路（六甲3路線、西神戸）、及び駐車場（荒田公園、三宮中央通、大倉山）建設事業費の着実な償還	利用促進策の検討、実施											
安全・災害対策	六甲3路線改築事業の実施（令和7年度完了）											
・安全・安心な道路を提供するための計画的かつ効果的な対策	新たな通行止め雨量基準の検証						運用開始					
渋滞対策など円滑な交通ネットワークの形成	新神戸トンネル南伸部等事業化に向けた調査・検討、関係機関協議											
経営の効率化	箕谷第2駐車場用地の処分による財源の確保、民間資源を活用した経営の効率化											
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
利用促進（需要喚起策の検討） ・新たな料金制度等の検討及び特に厳しい収支状況にある荒田・大倉山駐車場の利用促進	周辺施設の市場調査、利用実態調査、分析			新たな料金制度、利用促進検討			関係者協議			実施		
六甲3路線改築事業(R3～7年度)・長寿命化修繕計画の着実な実行	積算、照査			発注、入札、契約			工事					
渋滞対策とアクセス強化に向けた事業スキームの検討	R4年度の検討を踏まえ、引き続き神戸市及び関係機関と事業化に向けた事業スキーム検討の協議・調整											
運営体制の最適化	固有職員の採用／電子決裁の導入／給与事務委託／服務関係事務のDX化／法定点検時・路面性状調査における新技術の導入											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	<p>目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<p>①安全、安心、快適な有料道路及び駐車場を提供することで、市民福祉の増進と市内交通の円滑化に寄与するとともに、更なる道路ネットワークの形成や駐車場の利活用について、市と協力して対処していく。</p> <p>②有料道路事業で整備した施設の償還準備金の着実な償還を目指すべく、コロナ禍で減少した有料道路及び駐車場の利用台数を令和6年度までにコロナ禍以前の水準に回復させる。</p> <p>③監査体制・内容の強化と運営体制の効率化を図り、適正な業務執行を維持しつつ、最適な組織運営・体制づくりをめざす。</p>
		<p>①六甲3路線改築事業を設計、発注、工事と年度ごとに計画的に実行し、令和7年度に完了させる。また、既存施設の点検を令和5、6年度に実施し、修繕計画の更新を行い、長寿命化を図る。 道路管理の新しい技術を先進的に取り入れることで、技術力向上や迅速な災害対応に取り組み、より効率的で効果的な管理手法を確立し、市へ還元していく。 山麓バイパスの渋滞対策や都心部における円滑な交通ネットワーク形成を目指し、新神戸トンネル南伸部等の事業化に向けた検討を市と連携しながら推進していく。</p> <p>②有料道路における社会ニーズにあった新たな料金制度の検討や、収支状況の厳しい駐車場における利用促進に取り組むとともに、未償還額など経営状況を分かりやすく可視化してホームページに掲載するなど、丁寧な広報を行って説明責任を果たす。</p> <p>③DX化の推進による更なる事務効率化、令和4年度に体制及び内容を強化した監査の継続的な実施、民間活用等により組織運営の最適化を図る。</p>

■ 市支援策の活用状況（令和4年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	